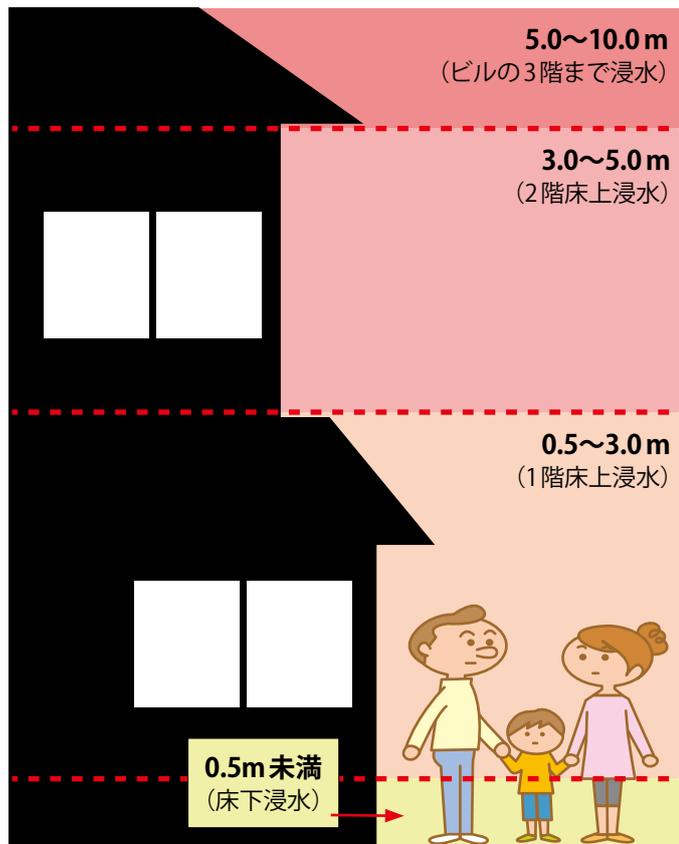


浸水が想定される区域における避難行動

浸水深の見方



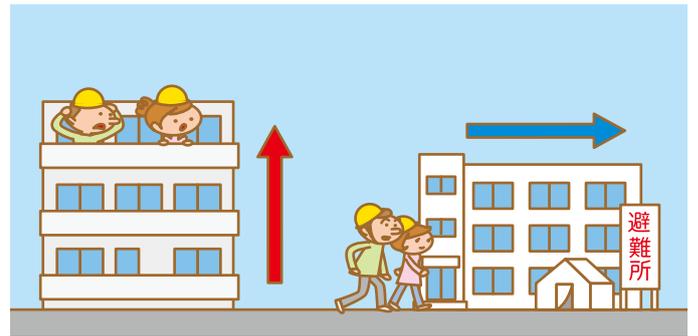
状況に応じた避難行動

水平避難と屋内安全確保

洪水が予想される場合は、早めに浸水想定区域の外側の避難所等へ避難することが基本です。

避難所への避難がかえって危険な場合は、近隣のより安全な場所へ避難しましょう。

すでに避難経路が浸水しているなど、外出することが危険な場合は、今いる建物の上階に移動するなど、より安全な場所に避難しましょう。



早期立退き避難

自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域内にある、または浸水深が建物の最上階の床の高さを上回る場合は、早期の立退き避難が必要です。

氾濫流 家屋倒壊等氾濫想定区域

堤防の決壊等が発生した場合に、家屋の倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです



河岸侵食 家屋倒壊等氾濫想定区域

河岸が侵食された場合に、家屋の倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。



都市型水害、地域の災害特性

地下街・地下空間の危険性

洪水や豪雨時の地下施設・地下室などは危険です。地下空間にいと、外の状況がわかりません。また、地上の浸水状況と大きく異なり、冠水や停電の危険性が高いため、特に早めに避難が必要です。



水深が20~30cmでも、水圧でドアは開かなくなります。



地上が浸水すると、一気に水が流れ込んできます。

浸水継続時間が長い区域

浸水継続時間が長い地域ではライフライン（電気・ガス・上下水道・電話など）の復旧には時間がかかり、生活するのは困難になります。しばらくの間自宅に戻れないことも考慮した上で、早めに避難を心がけてください。

河川ごとの浸水継続時間は、河川管理者のホームページで確認することができます。

新潟県内の浸水想定区域図ホームページアドレス

<http://www.pref.niigata.lg.jp/kasenkanri/1233086526002.html>



避難情報、警報、注意報の種類と発表の基準

避難情報の種類・説明

避難準備・高齢者等避難開始

- 避難に時間を要する方（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。
- その他の人は避難の準備を整え、以降の防災気象情報などに注意しましょう。



避難勧告

- 災害による被害が発生する可能性が高まっています。
- 速やかに避難場所へ避難をしましょう。
- 外出することで危険性が高まる場合は、屋内のより安全な場所へ避難をしましょう。



避難指示（緊急）

- 災害が既に発生している又は、発生危険が非常に高まっています。
- 避難をしていない方は、ただちに避難場所へ避難してください。
- 外出することで危険性が高まる場合は、屋内のより安全な場所へ避難をしましょう。



気象庁からの気象情報（注意報・警報）

注意報

大雨注意報

大雨による災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。

洪水注意報

大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。

警報

大雨警報

大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。大雨警報には、大雨警報（土砂災害）、大雨警報（浸水害）、大雨警報（土砂災害、浸水害）のように、特に警戒すべき事項が明記される。

洪水警報

大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。対象となる重大な災害として、河川が増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害があげられる。

特別警報

大雨特別警報

大雨が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれが著しく大きいときに発表される。大雨特別警報には、大雨特別警報（土砂災害）、大雨特別警報（浸水害）、大雨特別警報（土砂災害、浸水害）のように、特に警戒すべき事項が明記される。

雨の降り方と周囲の状況

強い雨



1時間に **20~30** mm

傘をさしてもぬれる。車のワイパーを早くしても見づらい。

激しい雨



1時間に **30~50** mm

道路が川ようになる。歩くのは危険です。

非常に激しい雨



1時間に **50~80** mm

傘はまったく役に立たなくなる。マンホールから水がふき出す。水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。経験したことがない大雨

猛烈な雨



1時間に **80** mm~

避難情報等の伝達、入手方法とその内容 1

緊急告知 FM ラジオ

電源が入っていない状態でも緊急信号を受信すると、自動的に起動して最大音量で新潟市の緊急情報を伝達します。

新潟市では、災害発生時において、地域の方々が協力して避難していただくことを目的に、自治会・町内会、コミュニティ協議会、民生委員・児童委員などの地域防災の核となる方に対して、緊急告知FMラジオを貸与しています。

また、平成28年度から本ラジオの一般販売にあわせ購入費の一部を補助しています。

自動起動により放送される緊急情報

緊急地震速報、津波注意報、津波警報、大津波警報、国民保護事案、洪水などの緊急性の高い災害情報や、当該災害により発表される避難情報などを自動起動します。

試験放送日時等

エフエムラジオ新潟
市内全域 / 市内全域
試験放送日時
毎月第3日曜日 9時55分から5分程度

エフエム新津
対象地域 / 秋葉区、南区
試験放送日時
毎月第3日曜日 8時55分から2分程度



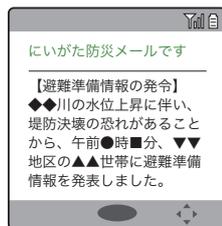
その他の機能

1. 乾電池のみでも稼働します。避難後の情報収集もできます。
2. 設定により該当区だけの緊急情報を受信できます。
3. ラジオ本体にライト機能があり、照明としても活用できます。
4. ラジオ本体の操作が簡単であり誰でも容易に操作できます。

にいがた防災メール

にいがた防災メールとは避難情報など、災害に関して緊急を要する情報等をメールでお知らせします。

全市域に関するメールのほか、ご希望により、自宅や職場などがある区に関するメールのみを受取ることができます。



にいがた防災メールで配信される情報

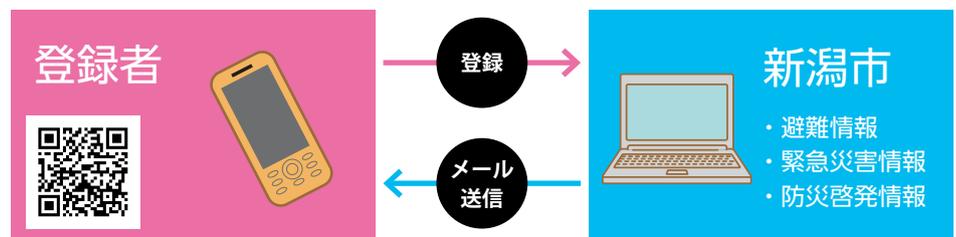
1. 避難情報（避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告及び避難指示（緊急））
2. 災害等に関し緊急に配信する必要が認められる情報
3. 防災啓発に関する情報

にいがた防災メールへの登録

登録サイト (PC)
<http://service.sugumail.com/niigata/member>

登録サイト (携帯)
<http://service.sugumail.com/niigata/>

携帯サイトへのアクセス対応機種の方は右記の二次元コード (QRコード) をご利用ください。



にいがた防災アプリ

新潟市では、スマートフォン・タブレット端末を活用した情報提供手段として、新潟市民はもとより土地勘のない旅行者に安全な場所へ的確に避難行動してもらうことを目的に、災害時の危険箇所や避難所の方向を視覚的にわかりやすく表示するアプリを平成27年3月16日から無料ダウンロード配信しています。

指定避難所表示機能

アプリを起動すると画面の上半分にカメラ映像、下半分に地図が表示され、現在位置から見た風景に避難所の方向を示すアイコンが合成されます。端末を動かすとその方向にあわせて、現在見ている方向の情報が表示されます。



ハザードマップ表示機能

1. 土砂災害ハザードマップ
2. 洪水ハザードマップ (河川氾濫時 ※計画規模のみ確認することができます)
3. 浸水ハザードマップ (大雨時)
4. 道路冠水想定箇所マップ (ゲリラ豪雨時の冠水箇所)

オフライン地図機能

平常時に地図をダウンロードしておくことで、通信回線が途絶している場合でもオフラインで地図を利用することができます。

懐中電灯機能

夜間でも安全に避難するために、スマートフォン・タブレットに内蔵されているライトを継続点灯させることができます。

避難情報等の伝達、入手方法とその内容 2

テレビデータ放送

災害時、総合テレビ（NHK）のデータ放送画面に、災害情報や避難情報を配信します。

総合テレビ（NHK）

地震や台風の発生時や、お住まいの地域に大雨・暴風などの気象警報が発せられたとき、データ放送画面で速やかにお伝えします。

リモコンの

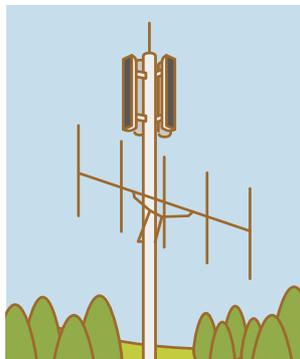


ボタンを押す



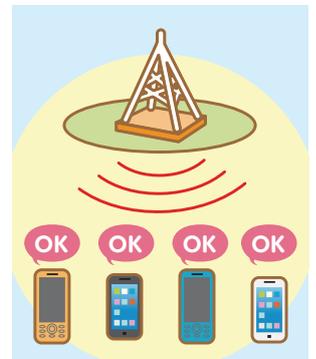
防災行政無線

屋外に設置されている子局のスピーカーからサイレンや音声により、市民の皆さまに緊急情報や避難情報などをお知らせします。



緊急速報メール・エリアメール

災害情報や避難情報などを配信エリア内の対応携帯電話に一斉配信します。登録は不要です。対応機種などは、各通信事業者にお問い合わせください。



緊急災害情報ホームページ

新潟市のホームページで、災害情報などをお知らせします。

ホームページアドレス

<http://kinkyu-city.niigata.jp/kinkyu/index.php>



河川管理者ホームページ

水位情報等をこちらから確認することができます。

信濃川下流域・阿賀野川情報共有プラットフォーム

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/platform/public/>



新潟県河川防災情報システム

<http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen/>



新潟市危機管理防災局公式ツイッター

ツイッターアカウント

https://twitter.com/niigatacity_kib



固定電話・携帯電話・スマホから

災害時伝言ダイヤル

NTT東日本／ダイヤル171、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、Y!モバイルから伝言を登録・再生できます。



洪水発生時における避難の心得

正確な情報収集と早めの避難

雨の降り方がいつもと違うと感じたら、ラジオ・テレビなどからの最新の気象情報等に注意しましょう。また、そのときにいる場所の周辺で危険を感じたら、自主的に避難準備を始めましょう。



戸締りや火の始末、非常持ち出し品を忘れずに

避難のときに持ち出す荷物は必要最低限にし、場所を決めて持ち出し袋にまとめておきましょう。避難時には火元を点検しましょう。電気のブレーカーを切り、戸締りをしましょう。



動きやすい服装と集団での避難

持ち物はリュックで、手は自由に。長靴ではなく運動靴で避難しましょう。単独での避難は事故にあったとき非常に危険です。避難するときは複数で行動しましょう。



自力で避難することが困難な方へ、可能な範囲で協力

隣近所で声をかけ合いましょう。また、高齢者や身体の不自由な方、子どもなどの避難に可能な範囲で協力しましょう。



車での避難は控える

車での避難は渋滞を招き、緊急車両の妨げになります。また、道路冠水などにより動けなくなるおそれがあります。特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。



危険な場所は避けて避難

ガード下や、がけ地、堤防などを通るのは危険です。近所であっても避けましょう。橋についても安全を確認してから渡りましょう。



棒で足元を確認しながら避難

冠水した道路は足下が見えないため危険です。先頭に立つ人は傘や長い棒などで確認しながら進みましょう。



高い堅牢な建物にとどまることも選択肢の一つ

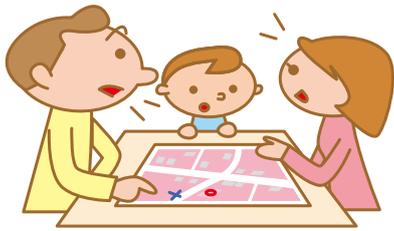
氾濫水は勢いが強いので、万が一逃げ遅れたら、近くの堅牢な建物のより高いところに避難して救助を待ちましょう。



洪水に備えた事前の心構え

避難場所や避難路を事前に確認

家族が別々に避難することも考えられます。前もって連絡先や集合場所を決めておきましょう。



普段から地域での助け合い活動を

お年寄りや身体の不自由な方など、自ら避難するのが困難な方もいます。普段から気配りをしましょう。



地域の避難訓練に参加しましょう

自治会等の避難訓練に参加しましょう。訓練の際には、ハザードマップを活用しましょう。



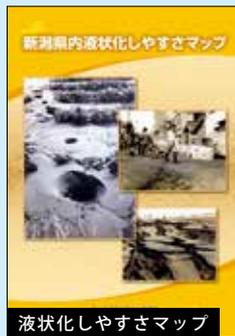
他のハザードマップは市ホームページに掲載



地区別防災カルテ



浸水ハザードマップ



液状化しやすさマップ



土砂災害ハザードマップ

新潟市ハザードマップ紹介ページ

https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/bosai/hinanjo/kouzui_hinanchizu/index.html

- ・地区別防災カルテ
- ・新潟市津波ハザードマップ
- ・浸水ハザードマップ
- ・道路冠水想定箇所
- ・土砂災害ハザードマップ
- ・ため池ハザードマップ
- ・液状化しやすさマップ
- ・なだれ危険箇所マップ

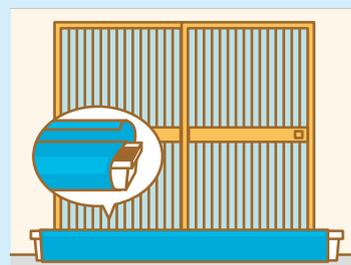
お問い合わせ先

危機管理防災局 防災課…………… TEL. 025-226-1143
北区 地域総務課…………… TEL. 025-387-1115
東区 総務課…………… TEL. 025-250-2720
中央区 総務課…………… TEL. 025-223-7064
江南区 地域総務課…………… TEL. 025-382-4526
秋葉区 地域総務課…………… TEL. 0250-25-5470
南区 地域総務課…………… TEL. 025-372-6431
西区 総務課…………… TEL. 025-264-7120
西蒲区 地域総務課…………… TEL. 0256-72-8143

簡易水防工法例

プランター+ビニールシート

土を入れたプランターをビニールシートで巻き込んだものを使用し、浸水を防ぎます。



簡易水のう+止水板

簡易水のうを作り、長めの板などを組み合わせて出入り口に設置し、浸水を防ぎます。



非常持ち出し品・備蓄品チェックリスト

非常持ち出し品

<input type="checkbox"/> 現金 (10円玉を多めに) 	<input type="checkbox"/> 預金通帳・印鑑・保険証 	<input type="checkbox"/> 懐中電灯・携帯ラジオ 	<input type="checkbox"/> 予備の乾電池 	<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん 	<input type="checkbox"/> ホイッスル
<input type="checkbox"/> 厚手の手袋 	<input type="checkbox"/> 毛布 	<input type="checkbox"/> 缶切り・ナイフ 	<input type="checkbox"/> ライター・マッチ 	<input type="checkbox"/> 携帯用トイレ 	<input type="checkbox"/> 救急セット
<input type="checkbox"/> 持病薬・常備薬・お薬手帳 	<input type="checkbox"/> 生理用品・紙おむつ 	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ 	<input type="checkbox"/> 乾パン・缶詰 	<input type="checkbox"/> アメ・チョコ 	<input type="checkbox"/> 栄養補助食品
<input type="checkbox"/> 飲料水 	<input type="checkbox"/> 下着・靴下 	<input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン 	<input type="checkbox"/> 防寒用ジャケット・雨具 	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ 	<input type="checkbox"/> タオル

備蓄品

<input type="checkbox"/> レトルト食品 (ごはん、おかゆ)・アルファ米 	<input type="checkbox"/> インスタントラーメン 	<input type="checkbox"/> カップみそ汁 	<input type="checkbox"/> 飲料水 (1日3リットル目安) 	<input type="checkbox"/> 給用水ポリタンク 	<input type="checkbox"/> カセットコンロ・ボンベ
<input type="checkbox"/> ラップ 	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ 	<input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ・割りばし 	<input type="checkbox"/> ビニール袋 	<input type="checkbox"/> ロープ 	<input type="checkbox"/> 工具セット
<input type="checkbox"/> ほうき・ちりとり 	<input type="checkbox"/> LEDランタン 	<input type="checkbox"/> 運動靴・スリッパ 	<input type="checkbox"/> 粉ミルク 	<input type="checkbox"/> 新聞紙 	<input type="checkbox"/> 携帯端末の乾電池式充電器

※上記の非常持ち出し品・備蓄品は一例です。家族構成や健康状態に合わせたものを利用しましょう。

ローリングストック法

備蓄食料・飲料水などは保存期限が切れる前に消費し、その分だけ新たに補充して常に一定量のストックがある状態を保つことを「循環備蓄」といいます。定期的に古い備蓄品から消費することで無駄を出さず、また、いざというときに保存期限切れで使えなくなることを防ぎます。

